

# 5. ご近助 ストック&ピクニック

## 減災活動グループ ご近助さん 代表 加藤 章子

### 1. 事業目的

- ・母親の減災力向上により、地域全体の減災力の底上げができること。
- ・社会的弱者とされる子ども(特に乳幼児)の災害リスクの軽減が図れること。

### 2. 事業内容

- ①託児付き減災講座の開催
- ②地域の子育て世代の、災害に関する意識調査

### 3. 実施日時

- ①平成 29 年 11 月 23 日 10:00 ~ 15:00  
平成 29 年 12 月 17 日 10:00 ~ 12:00
- ②平成 29 年 9 月

### 4. 実施場所

- ①下田市吉佐美「わんさ花」
- ②下田子ども園、下田保育園、下田幼稚園、稲生沢保育園、ひかり保育園

### 5. 対象者

- ①下田市内の乳幼児の父母または保護者、下田市民、南伊豆町民
- ②下田市内の乳幼児の父母または保護者

### 6. 参加人数

- ① 11 月 23 日 8 名  
12 月 17 日 2 名

### 【意識調査】(アンケート)

災害に対する意識調査

平成 29 年 9 月 20 日  
減災活動グループ ご近助さん  
代表 加藤 あき子

私たちは未就学児の母親グループです。以前、防災講座を受講し下田地域の災害リスクを学びました。このままでは自分たちが災害に遭ったときに自分の子どもを守れないと危機感を抱き、減災活動を行うグループを結成しました。

今後は減災講座の開催や地域内の相互援助の体制作り、減災ピクニック等の活動を通して地域の減災力の向上を目指して行く予定です。

※減災とは、災害時において発生する可能性がある被害を最小化するための取り組みをいいます。必ず来るといわれている南海トラフ巨大地震やその他の自然災害に対して被害を最小限に抑えられるように自分の身は自分で守ることや地域の人と共に助け合う体制がとても重要なことなのです。

本アンケートは、下田地域の未就学児を育てている方々の災害に対する思いを知り、減災活動を行う際の参考にさせていただくことが目的です。自分の子どもは自分で守る、地域で協力して地域の子どもの守っていく下田市になるように全 5 問の簡単なアンケートにご協力をお願いいたします。

本アンケートは下田市内の各保育所(園)、幼稚園、こども園に配布しています。

**平成 29 年 9 月 26 日(火)**までに各クラスの先生に 2 枚目のみをお渡しください。

なお、個人情報の保護に十分に注意し、本アンケート結果は「減災活動グループ ご近助さん」の活動にのみ参考にさせていただきます。

減災講座は秋以降に開催予定です。子どもたちを守るため 1 人でも多くの方にご参加いただき、地域の減災力向上へのご協力をよろしくお願いたします。

減災活動グループ ご近助さん、アンケートに関するお問い合わせ  
「減災活動グループ ご近助さん」  
代表 加藤 あき子  
TEL : 090-7043-1505(電話に出れない時は折り返しご連絡させていただきます。)  
MEIL : shimoda\_gensai5@yahoo.co.jp  
Facebook : <https://m.facebook.com/shimodagensai5kinjo3/>

☆本ページを切り離してこちらのみを提出してください。

質問 1

お住まいの地域はどちらですか？該当地区に☑をつけてください。

下田地区  白浜地区  浜崎地区  福生沢地区  福梓地区  朝日地区

質問 2

お住まいの地域で考えられる災害リスクを教えてください。

地震  津波  風水害(台風)  土砂災害  火災  火山  放射能(浜岡原発からなど)

質問 3

お子様について教えてください。

母乳・ミルクを飲んでいる  
 離乳食を食べている  
 歩くことができる  
 おむつをしている  
 アレルギーがある

質問 4

災害に対して何かしらの対策をしていますか？該当するものに☑をつけてください。

はい  いいえ(質問 5へ)

↓

「はい」と答えた方に質問です。実際にされている災害に備えた対策を教えてください。該当するものに☑をつけてください。(複数回答可)

情報収集手段の準備(防災ラジオの設置、緊急連絡メールが受信可能かどうか、防災アプリのダウンロードなど)  
 防災訓練の参加(地域・会社・自主防災組織など)  
 備蓄品の準備(食糧品・消耗品などを自宅で保管してある)  
 非常持ち出し品の準備(最低限の備蓄品や救急セットなどの防災用品を避難時にサッと持ち出せるようにしてある)  
 家や部屋の安全対策(耐震化、家具の固定化、ガラスの飛散防止対策など)  
 家族での話し合い(災害時の避難方法、連絡方法など)  
 親戚や友人との災害時の助け合いについて話し合う  
 避難所、避難ビル、避難経路の確認  
 その他

1

私たちは「**ご近助ストック**」を推進しています。

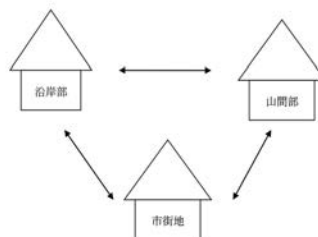
ご近助ストックとは3軒の災害リスクが異なる地域間で備蓄品などを共有し合うことで共倒れにならないようにするしくみのことです。核家族化などで昔ながらのご近所付き合いが薄れている今日、この3軒間で安否確認をしたり助け合ったりなど被災時にお互いを気にかけることも被災につながります。

また、災害時に問題視される備蓄品を1軒で3軒分保管することで備えが増えるという安心感もあります。

さらに、年に2回ほど備蓄品を使った減災ビクニックを行うことで親睦を深めたり信頼感を高めたりしながらローリングストック券を行っています。

※ローリングストックとは日常生活の中で備蓄品を一定量に保ちながら、消費と購入を繰り返すことで鮮度を保ち、いざというときに日常生活と近い食生活を送ることができる保存管理方法です。

ご近助ストック始めませんか？ご近助ストック仲間を募集中です！



ご近助ストックのメリット

- ・備蓄品のストックが増える
- ・自分の家が被災した際にストックがあるという安心感がある
- ・仲間が気にかけてくれる安心感がある
- ・ローリングストックができるなど一気の合う仲間とご近助ストックするもよし、新しい仲間を見つけるもよし。ご自身に合った形でご参加ください！

質問 5

災害、減災などについて知りたいことはありますか？該当するものに☑をつけてください。(複数回答可)

国、県、市の過去の災害や今後の被害想定について  
 避難経路や下田市の発災時の救助活動計画について  
 災害時の救援物資の予備について  
 避難所の生活について  
 救急法について  
 備蓄品や非常持ち出し品などについて  
 家具の転倒防止、家の耐震化・免震化について  
 災害時の情報収集について  
 災害時の心と身体について  
 下田市の減災・防災に関する補助制度について(防災等補助金と防災の購入、避難、防災用のヘルメット・救命器具の購入費補助制度など)  
 その他

1

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

今後、減災活動グループ「ご近助さん」のメンバーを募集しています。一緒に活動してくれる方、一緒に学びたい方は以下にご連絡先をご記入ください。こちらから連絡させていただきます。

お名前:	電話番号:
メールアドレス:	

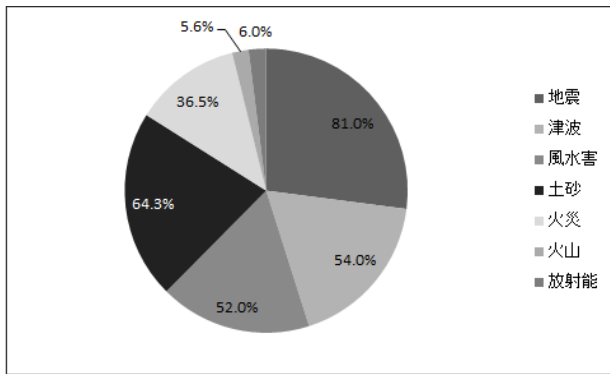
## 9月減災アンケート結果

	配布	回収	記名	回収率
こども園	200	112		56.0%
下田保育園	80	52	2	65.0%
下田幼稚園	35	25		71.4%
いのうざわ・ひかり保育園	190	63	5	33.2%

園	回答数	回答率
いのうざわ・ひかり	63	33.2%
こども園	112	56.0%
下田保育園	52	65.0%
下田幼稚園	25	71.4%
合計	252	

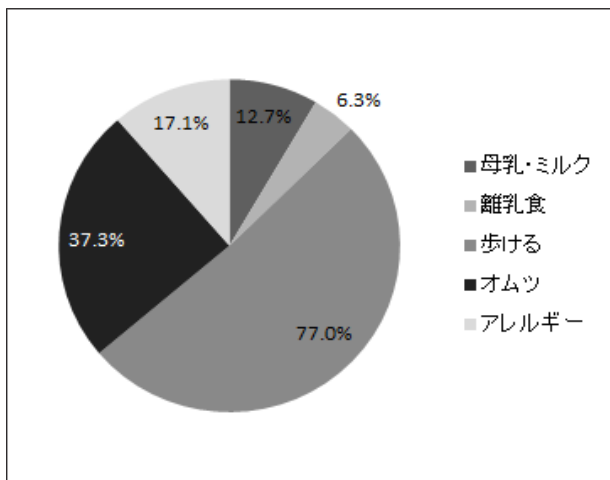
質問 2. お住まいの地域で考えられる災害リスクを教えてください

地震	津波	風水害	土砂	火災	火山	放射能
81.0%	54.0%	52.0%	64.3%	36.5%	5.6%	6.0%



質問 3. お子様について教えてください。

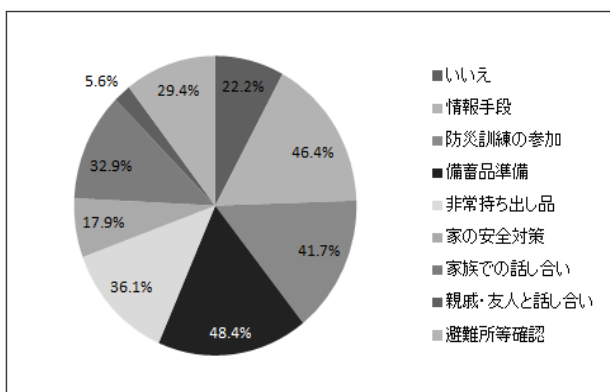
母乳・ミルク	離乳食	歩ける	オムツ	アレルギー
12.7%	6.3%	77.0%	37.3%	17.1%



質問 4. 災害に対して何かしらの対策をしていますか？

いいえ	情報手段	防災訓練の参加	備蓄品準備	非常持ち出し品
22.2%	46.4%	41.7%	48.4%	36.1%

家の安全対策	家族での話し合い	親戚・友人と話し合い	避難所等確認
17.9%	32.9%	5.6%	29.4%



質問 5. 災害、減災などについて知りたい事がありますか？

過去・今後の被害想定	避難経路・救助活動計画	救援物資の予測	避難所の生活
29.0%	44.4%	43.3%	44.8%

救急法	備蓄品・持ち出し品	転倒防止・耐震免震化	情報収集
23.0%	23.8%	9.5%	33.7%

心と身体	下田市補助制度	その他
16.3%	34.5%	0.8%

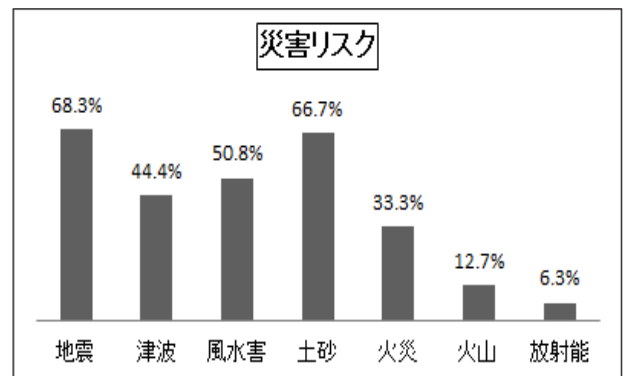
### 〈稲生沢・ひかり保育園〉

回収率

園	回答数	回答率
稲生沢・ひかり保育園	63	33.2%

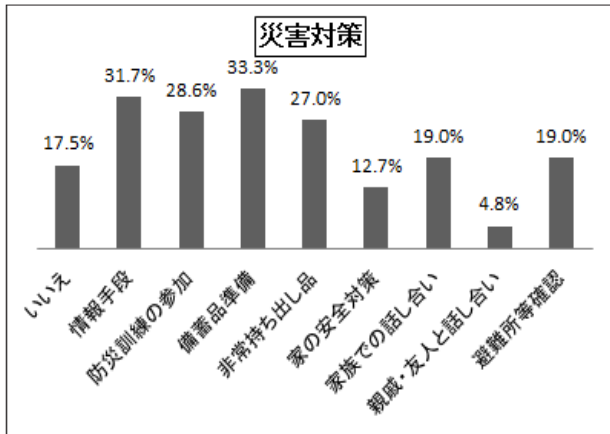
### 2. 災害リスク

災害種別	回答数	回答率
地震	43	68.3%
津波	28	44.4%
風水害	32	50.8%
土砂	42	66.7%
火災	21	33.3%
火山	8	12.7%
放射能	4	6.3%



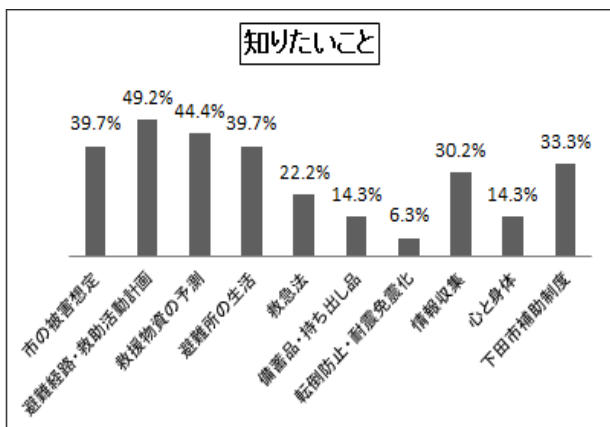
#### 4. 災害対策

いいえ	11	17.5%
情報手段	20	31.7%
防災訓練の参加	18	28.6%
備蓄品準備	21	33.3%
非常持ち出し品	17	27.0%
家の安全対策	8	12.7%
家族での話し合い	12	19.0%
親戚・友人と話し合い	3	4.8%
避難所等確認	12	19.0%



#### 5. 知りたいこと

市の被害想定	25	39.7%
避難経路・救助活動計画	31	49.2%
救援物資の予測	28	44.4%
避難所の生活	25	39.7%
救急法	14	22.2%
備蓄品・持ち出し品	9	14.3%
転倒防止・耐震免震化	4	6.3%
情報収集	19	30.2%
心と身体	9	14.3%
下田市補助制度	21	33.3%



〈稲生沢・ひかり保育園アンケートから見てきたこと〉

・自宅の災害リスクでは地震、風水害、土砂災害を考えている方が多い。

・何らかの災害対策をしている人は3割程度。

・知りたい事はたくさんある。

※災害への心配はたくさんあるようですが、対策は進んでいない方が多いようです。これから色々知って備えていきたい方が多い様です。

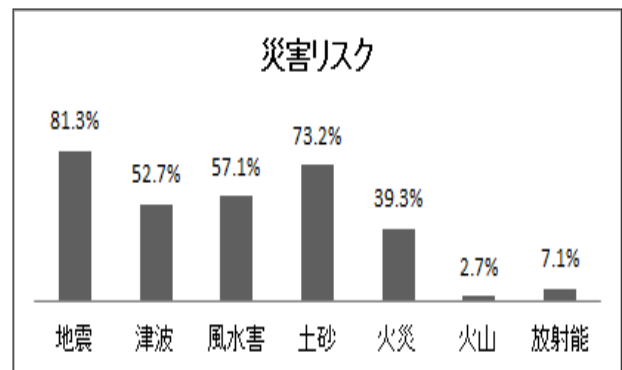
#### 〈こども園〉

回収率

園	回答数	回答率
こども園	112	56.0%

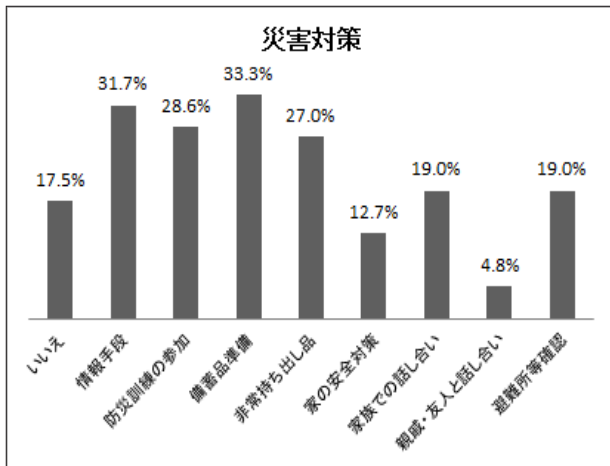
#### 2. 災害リスク

地震	91	81.3%
津波	59	52.7%
風水害	64	57.1%
土砂	82	73.2%
火災	44	39.3%
火山	3	2.7%
放射能	8	7.1%



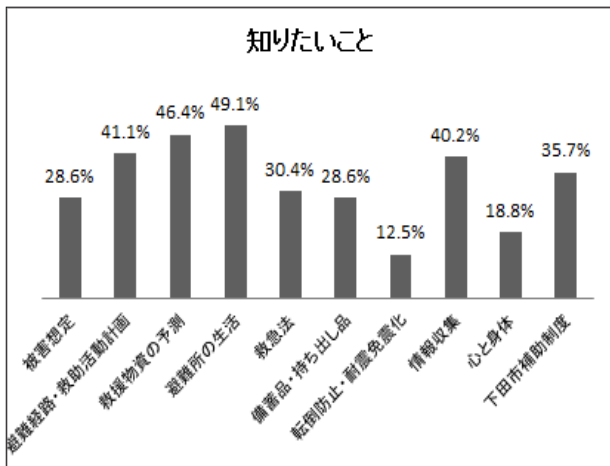
#### 4. 災害対策

いいえ	11	17.5%
情報手段	20	31.7%
防災訓練の参加	18	28.6%
備蓄品準備	21	33.3%
非常持ち出し品	17	27.0%
家の安全対策	8	12.7%
家族での話し合い	12	19.0%
親戚・友人と話し合い	3	4.8%
避難所等確認	12	19.0%



#### 5. 知りたいこと

被害想定	回答数	回答率
避難経路・救助活動計画	46	41.1%
救援物資の予測	52	46.4%
避難所の生活	55	49.1%
救急法	34	30.4%
備蓄品・持ち出し品	32	28.6%
転倒防止・耐震免震化	14	12.5%
情報収集	45	40.2%
心と身体	21	18.8%
下田市補助制度	40	35.7%



〈こども園アンケートから見てきたこと〉

- ・ 自宅の災害リスクでは地震、津波、風水害、土砂災害を考えている方が多い。
- ・ 何らかの災害対策をしている人は3割程度。
- ・ 知りたい事はたくさんある。

※災害への心配はたくさんあるようですが、対策は進んでいない方が多いようです。これから色々知って備えていきたい方が多い様です。

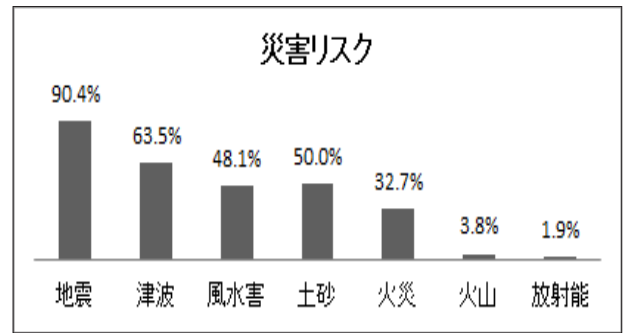
### 〈下田保育園〉

回収率

園	回答数	回答率
下田保育園	52	65.0%

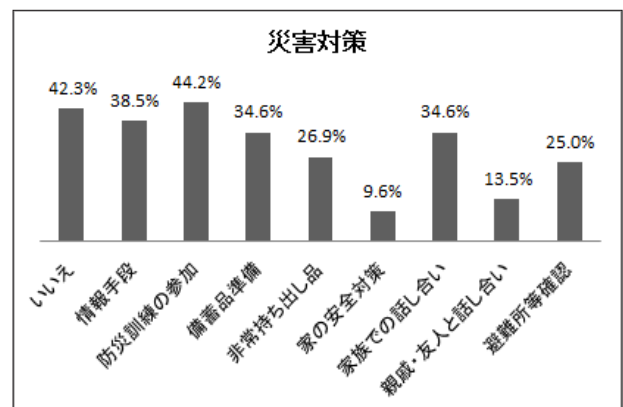
#### 2. 災害リスク

災害リスク	回答数	回答率
地震	47	90.4%
津波	33	63.5%
風水害	25	48.1%
土砂	26	50.0%
火災	17	32.7%
火山	2	3.8%
放射能	1	1.9%



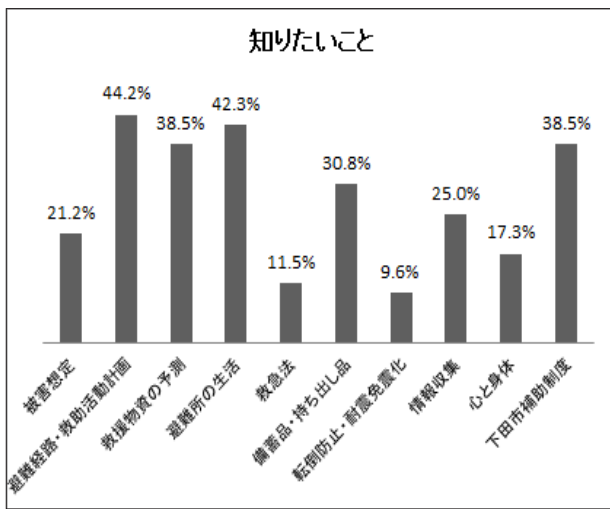
#### 4. 災害対策

対策	回答数	回答率
いいえ	22	42.3%
情報手段	20	38.5%
防災訓練の参加	23	44.2%
備蓄品準備	18	34.6%
非常持ち出し品	14	26.9%
家の安全対策	5	9.6%
家族での話し合い	18	34.6%
親戚・友人と話し合い	7	13.5%
避難所等確認	13	25.0%



## 5. 知りたいこと

被害想定	11	21.2%
避難経路・救助活動計画	23	44.2%
救援物資の予測	20	38.5%
避難所の生活	22	42.3%
救急法	6	11.5%
備蓄品・持ち出し品	16	30.8%
転倒防止・耐震免震化	5	9.6%
情報収集	13	25.0%
心と身体	9	17.3%
下田市補助制度	20	38.5%



〈下田保育園アンケートから見てきたこと〉

- ・地震をとっても心配している人が多い。
- ・自宅の災害で心配なのは津波と答える人が一番多い。
- ・災害対策をしていない人が半数以上いる。
- ・防災訓練の参加、情報手段の用意、備蓄品の準備、家族での話し合いをしている人は全体の3割以上いる。
- ・避難経路・救助活動計画、避難所の生活を知りたい人は約半数いる。

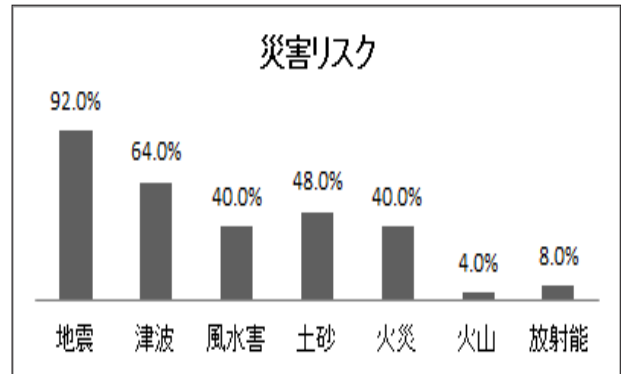
## 〈下田幼稚園〉

回収率

園	回答数	回答率
下田幼稚園	25	71.4%

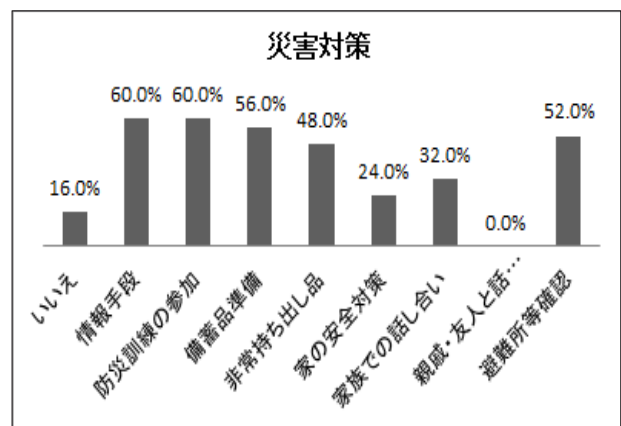
## 2. 災害リスク

地震	23	92.0%
津波	16	64.0%
風水害	10	40.0%
土砂	12	48.0%
火災	10	40.0%
火山	1	4.0%
放射能	2	8.0%



## 4. 災害対策

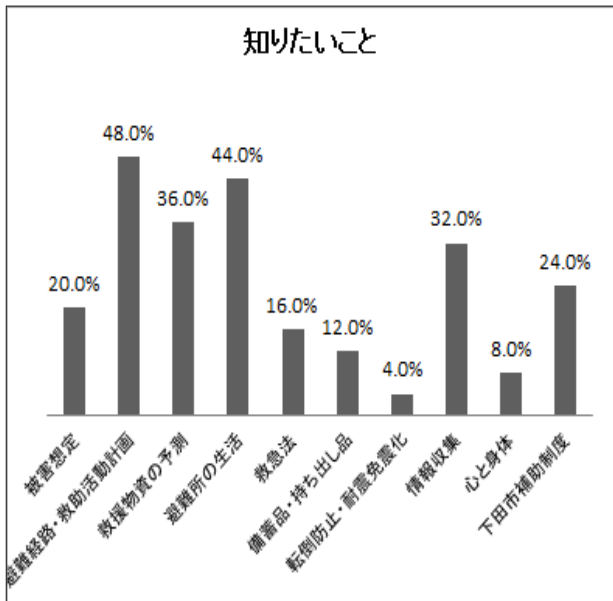
いいえ	4	16.0%
情報手段	15	60.0%
防災訓練の参加	15	60.0%
備蓄品準備	14	56.0%
非常持ち出し品	12	48.0%
家の安全対策	6	24.0%
家族での話し合い	8	32.0%
親戚・友人と話し合い	0	0.0%
避難所等確認	13	52.0%





## 5. 知りたいこと

被害想定	5	20.0%
避難経路・救助活動計画	12	48.0%
救援物資の予測	9	36.0%
避難所の生活	11	44.0%
救急法	4	16.0%
備蓄品・持ち出し品	3	12.0%
転倒防止・耐震免震化	1	4.0%
情報収集	8	32.0%
心と身体	2	8.0%
下田市補助制度	6	24.0%



〈下田幼稚園アンケートから見えてきたこと〉

- ・地震と津波を心配している人が多い。
- ・ほとんどの方が災害対策をしている。情報収集手段防災訓練の参加、情報手段・備蓄品・持ち出し品準備、避難所の確認は半数以上の人がしている。
- ・避難経路・救助活動計画、支援物資の予測、避難所の生活、情報収集手段など知りたい人が多い。
- ・下田幼稚園の方の災害への対策は一番多くされた。

## TUNAMI 講座

☑ 浸水区域外だし…大丈夫でしょ  
 ☑ 避難所に行くし…大丈夫でしょ  
 ☑ 備蓄は7日間以上してるし…大丈夫でしょ

本当にこれだけで大丈夫??  
 当てはまった人も、当てはまらない人はぜひ!! 本講座へ!!  
 あなた大切な人の命をつなぐ講座です。

### ニゲル篇

～TUNAMIを知りつくす～  
 平成 29年 11月 23日(木・祝)  
 10時～お昼まで  
 吉佐美「わんさ花」P有  
 ☆逃げ地図ワーク  
 ☆非常食試食バイキング  
 ☆子ども連れ参加OK!!  
 隣室にキッズスペース有  
 ☆持ち物:ペン、お弁当、飲み物  
 当日参加も歓迎です!  
 お気軽におこしください。

### スゴス篇

～TUNAMIの後のお話～  
 平成 29年 12月 17日(日)  
 10時～お昼まで  
 吉佐美「わんさ花」P有  
 ☆実験的非常食(水なし)クッキング  
 ☆子ども連れ参加OK!!  
 隣室にキッズスペース有  
 ☆持ち物:ペン、お弁当、飲み物  
 エプロン、三角巾、お手ふき  
 申し込み締め切り 12月 15日

同日とも午後は  
ご近助カフェで

お申し込み・お問い合わせ  
 被災活動グループ「ご近助さん」 加藤まで  
 Email: [shimoda\\_gensai@yahoo.co.jp](mailto:shimoda_gensai@yahoo.co.jp)  
 Facebook: <http://m.facebook.com/shimodagensai/kinjo/>  
 メールまたはメッセージで①氏名②住所③市町村  
 ④当日連絡がとれる電話番号⑤お子様の人数・年齢を教えてください。

## ご近助さんTUNAMI 講座スゴス篇 12/17

〈実験的非常食クッキング〉

Menu…ご飯、親子煮、切干大根ツナサラダ、  
 用意するもの…お米 80g、水 100ml、焼き鳥缶 1、卵 1、  
 切干大根 50g、ツナ缶 1、ホタテ缶 1、きゅうり 1、ハム適量、  
 マヨネーズ適量、お好みでおろし生姜チューブ、ポリ袋、鍋、  
 鍋の底にひくお皿菜箸、お皿、お箸、軽量カップ、はかり

ご飯	親子煮	切干大根ツナ和え 2人分	ホタテきゅうり 2人分
お米 80g、水 100ml	焼き鳥缶 1、卵 1	切干大根 50g、ツナ缶 1 マヨネーズ 大1 ※おろし生姜チューブ	ホタテ缶 1 ハム適量 きゅうり 1本 マヨネーズ 大1
お米を研ぎ(災害時はとにかくいい)、水 100mlと一緒ポリ袋に入れる。空気を抜いてねじり上げ縛る。お湯の中に入れる。 20分加熱		ツナの汁ごと、全ての材料をポリ袋に入れる。よく混ぜる。	
	ポリ袋に全ての材料を入れ、空気を抜いてねじり上げ縛る。お湯の中に入れる。 5分加熱。		きゅうり、ハムを千切りにする。ホタテ缶の汁、半分と、他の材料全てをポリ袋にいれる。よく混ぜる。
10分お湯の中で蒸らす。	10分お湯の中で蒸らす。		
盛り付けする。 Point…水がほとんど使えない状態。工夫として、捨てられる器(新聞紙、広告利用)、お皿にラップをひく。お箸はどうする?			

## 7. 事業の成果

①講座参加者の中から、自主的に今後の防災・減災活動をしていきたいという方が5名いた。12月29日に災害食を食べながら災害・迷子カードの作成を、2月に開催場所「わんさ花」のこども食堂にて災害食提供、3月に災害食の調理実習を予定している。また地域の居場所づくり「やね」で災害食のおやつ作りを予定している。

②アンケートの回収率は70%台と低く、また今後活動したいと表明して頂いた方も実際は参加者が1名という結果で、下田市内の乳幼児の父母または保護者の災害・減災意識への改善はなされなかったと考える。各園の先生方の意識は高く、今後も活動に協力してくれる園もあった。4月に稲生沢保育園、ひかり保育園で、9月に下田こども園にて、未就学児の親・保護者対象の防災・減災講座を行う予定である。また市内での下田市内の乳幼児の父母または保護者の災害に対するアンケートは、今まで行った事がなく、賀茂振興局危機管理課・下田市防災課・社会福祉協議会などと、アンケートの分析する機会を予定している。

### なんで備蓄が必要なの？

- 災害発生後、ライフラインの断絶や物流ストップなどで、食料が手に入り辛い。
- 特に下田は、陸・主要道路の寸断、海・津波により港の破壊、空・静岡県の中でも最後の支援という条件であり、数日以上支援物資が届かない事も予想される。
- 非常食は高いし食べ慣れていない。そのため子どもが食べてくれるかわからない。普段から食べ慣れているものを災害時でも食べることで、精神的安定も得られる。

### そのためには？

- 備蓄食材のローリングストック法が有効！！
- 普段食べている食料を1回分多く買って置いて、月に一度材料買い足して災害時を想定して作って食べてみる。

### どのくらい必要？

- 静岡県の推奨は7日間以上。一人分では一日3ℓ×7日で、21ℓ。2ℓペットボトルで10本。
- 備蓄は今あるもので数日は過ごせる量になると言われているが、水は用意しないと不足することが・・・。

## 8. 今後の展望

活動を希望している下田市内の乳幼児の父母または保護者の方がいるため、今後も年に数回の集まりを行っていく。

## 9. 協働団体

- ①・下田看護専門学校
  - ・下田高校
- ②・下田こども園
  - ・下田保育園
  - ・下田幼稚園
  - ・稲生沢保育園
  - ・ひかり保育園

### まずは命の安全を！

- いくら備蓄を用意しても、災害発生時に命を落としてしまっただけは何の意味もありません。
  - 命を守るためには・・・自宅の耐震化、家具の転倒防止、揺れの中身を守る方法などが必須。
  - 特に下田・伊豆地域の沿岸部は津波被害が予想される。地震の時は、とにかく身を守り素早く避難できるように日頃から考えておく事が有効。
  - そのためには、市の補助金を利用しての耐震化・転倒防止対策、自分だけでなく子どもも身を守る方法を練習(ダンゴムシのポーズ、お母さんのお腹に隠れる！)、避難経路の確認(街中で買い物中被災するかもしれません)などが必要。
- 自宅を避難所に。
- 避難所は厚さ寒さが厳しく、プライバシーの確保も難しい。トイレの衛生管理や感染症、災害弱者の性的被害などもある。子どもは遊んだり、はしゃいだりすると怒られる事も。
  - 避難所に行かなくて済むように、自宅を安全基地